

OME 市議会だより

No.272
令和7年(2025)
8月15日

令和7年青梅市議会定例会
5月招集議会・6月定例議会

今後2年間の議会人事が決まりました！

特別対談

「議会×市長」

一緒に語ろう、青梅市のこれから

今号の概要

令和7年5月招集議会が5月13日に開催されました。辞職に伴う正副議長選挙が行われ、議長に山崎勝議員、副議長に山内公美子議員が選出されました。次に、議会運営委員会および常任委員会の委員の選任が行われ、新たな委員会構成となりました。また、議会選出の監査委員として鴨居たかやす議員を選任したいとする市長提出議案に対し、全会一致で同意しました。

令和7年6月定例議会は、6月10日から24日までの15日間の期間で開催され、議案審議後、一般質問が行われました。上程された議案は、市長提出議案が条例7件、補正予算3件、契約1件、その他3件の全14件、議員提出議案1件で、いずれも原案どおり可決されました。また、陳情1件が審議され、不採択となりました。

会議の開催状況

【5月招集議会・・・期間5月13日（1日間）】

◆5月13日 議会運営委員会、本会議（議案審査等）、総務企画委員会、環境建設委員会、福祉文教委員会、予算決算委員会、予算決算委員会理事会

◆5月30日 議会運営委員会

【6月定例議会・・・期間6月10日～6月24日（15日間）】

◆6月10日 議会運営委員会、本会議（議案審議、一般質問等）

◆6月11日 本会議（一般質問）

◆6月12日 本会議（一般質問）

◆6月13日 総務企画委員会、環境建設委員会、福祉文教委員会

◆6月16日 議会運営委員会

◆6月17日 予算決算委員会（一般会計補正予算）、全員協議会、総合病院建替特別委員会

◆6月24日 議会運営委員会、本会議（委員会議案審査報告等）、予算決算委員会（一般会計補正予算）、文化複合施設整備特別委員会

【主な内容】 ◆特別対談「議会×市長」・・・2面 ◆新しい人事紹介・・・3面 ◆一般質問・・・4～7面 ◆視察報告・・・7面
◆議案・陳情の議決結果・・・8面 ◆9月定例議会の会議予定・・・8面

一緒に語ろう、青梅市のこれから

■副議長
山内 公美子

■議長
山崎 勝

■市長
大勢待 利明

特別対談「議会×市長」

Special Talk

市民の声を届ける議会、市政のリーダーである市長。普段とは違う雰囲気の中かで、青梅市のこれからについて語り合いました(2025.06)。

議会と市長、まさに両輪

市 長 本会議お疲れさまでした。議長になられて、どうでしたか？

議 長 はじめての議長で、引継ぎがあるわけじゃないのでね。やってみると、僕からすると、各団体の総会時期だったりして忙しかったです。忙しいんですが、今までの人たちが苦勞してきたんだってのはよく分かりましたね。

市長から見てどうですか？議会を経験されて、市長になって。

市 長 市議会議員は大変重いです。発言の一つひとつが本当に重要なんだってのがよく分かりました。議員ひとりの一般質問でも、通告書に書いてあることって、部長や課長が全員読むんです。それぞれの質問に対して、真摯に向き合っているのね。改めて、議会の重みはすごく感じました。

議 長 私たちが委員会の中で議論したものがどれくらい生かされているのかな、数字的には何もないじゃないですか。どういう風に受け止めているのかなって…

市 長 相当酌んですし、議会の意見は、そのまますごい影響力があります。僕も議員の経験があるからこそ、議員って重い存在だなんて思いました。やはり、議会側としては、ちょっと1回考え直したほうがいいってことがあったら、どんどん委員会を開くとか、市の職員を呼んだりして、議論をやっていったほうがいいですね。その都度ここまで進みましたよって議論して、修正して、修正して、そのプロセス自体を市民の皆さんに見てもらうのが必要な時代かなと思います。完璧じゃなくても議論して進めていく。それこそ、市側と議会側の、まさに両輪って、僕はそういう感じがしていますね。

青梅市頑張りますよ！

BOAT RACE 多摩川

議 長 今度、全国競艇主催地議会協議会の会長職が回ってきています。ボートレースについてはどうですか？

市 長 ボートレースは、市長にならないと分からないことが非常に多かったです。この業界で、ボートレース振興会とか、日本モーターボート競走会とか8団体くらいある。ボートレース多摩川が一つひとつ何を積み上げてきて、新しいことをやっているのかってのを業界自体にPRしていくことが大事な。基本的には、ベースのレースをどんどん上げていって、大きいレースがなくても収益が上がるっていう状態が一番好ましいですね。



議 長 日本財団はパラスポーツを一生懸命やっていますよね。

市 長 地域社会貢献をやっているってのがやっぱり大事ですよ。

議 長 青梅市頑張りますよって姿勢を見せるってことも大事だと思っています。せっかく会長になった以上は、大きなレースがきてほしいし、誘致したいですね。

副議長 基本大きなレースが来なくても売上を上げることは大事だけれども、ファンとしては大きなレースが来るって大事なことだと思いますね。

「日本航空学園」とのこれから、ぜひ議会も見てもらいたい

議 長 私たち議会としても、日本航空学園に地域に根ざしてもらいたいって望みですし、もちろん一緒になってやっていかなくちゃいけないなってものすごく分かりますよ。いま、学園さんもものすごくたくさん協力してくれてますしね。

市 長 そうですね。いろんな地域のイベントに出てもらってね。

副議長 逆に、心配になるくらいにね。

議 長 私たち議会としては、主権者教育というか、学園のほうでも議会を見てもらいたいなって、そんな希望もあるんです。せっかくいろんなことを、お手伝いしてもらっているのであれば、ぜひ議会も見てもらいたい。

市 長 輪島にも行きたいと思っています。8月くらいに調整して行ってきます。

逆に、議会でも防災関係の視察など行かれるといいかな。

議 長 国内の都市間交流って、お金がかからない交流というのもあると思うんです。都市間交流の中で物産だけを交流するっていう、そういうのも新たな価値観なのかなと思う。

副議長 それだけじゃなくて、今回あれだけ大きな被害があって。防災っていうところの知識だとかノウハウって、現場を経験したところじゃないと分からないことってたくさんあると思う。それが青梅市で生かされるってのは大きなことだと思うから、なにかしらの交流があるといいなと思います。

西多摩の広域連携強化を！
扉を開けていただきたい！

議 長 西多摩地区議長会に地域医療検討部会を作って、山内副議長に出てもらっていますけど、そういったところで西多摩での全体的な意見交換をしています。市長は西多摩地域広域行政圏協議会の会長ですよ。

市 長僕はね、いよいよこちらから提案をしていきたいなと思っています。

議 長たとえば観光だとか。

副議長医療もね。

市 長山内副議長からの一般質問もありましたけど。地域の意識を変えて、チャンスをどうするかって、流れも作れると思いますしね。



副議長今後、西多摩広域行政圏の中でもっとこう、議論ができるように。やっぱりもっと西多摩広域行政圏自体を強化したほうがいいよね。そうじゃないと進まないことがある。いろんな会議で、発言させてもらうけど。

市 長どんどん提案していただければ、どんどんやりにいきます。あと、スポーツでね、西多摩地域全体で35万人の人口がいるのですが、ここはプロスポーツの拠点がいない場所らしいんです。野球とか

色々なスポーツやって育った地元の子が目指す場所。自分の地元を応援するようなね、そういう熱狂を生み出す仕組みが作ればいいと思います。その調査をやっていきたいですね。

議 長西多摩広域行政圏も市長がトップになってやってもらっているの、若干でもいいからなにか一つスタートして、それが成功すれば、いろんなものに活用してできると思うので、ぜひその扉を開けていただきたいです。

議会も変わって
いかないといけない

市 長地域の声を決めるのって議員だなと思っていて、これだけの24人が市内各地にいるってのは非常に重要です。そこから、市民の直接いろんな意見を聞いていると思うのね。

副議長基本的にそういう市民の声を届けて、一般質問をしているので。

議 長もちろん24人のそれぞれ思いがあって、丁寧に答弁もしていただいています、引き続き、私たちの声を拾っていただけると。

市 長お互いに課題があって、それをどう解決していくかに、青梅市の進化とか、先がありますからね。

議 長私たちも、いいアイデアがいっぱいあれば、どんどん議会も変わっていかなくちゃいけないところがあると思うので、しっかりと進めていきたいと思います。

副議長外に向かってしっかりとアピールできるようにね。

市 長お互い課題を出して解決していけるように、頑張りましょう。

全 員よろしくお願いします。

ロングバージョンを
ホームページにて公開中→



総務企画委員会



◎ 阿部悦博 ○ 鴻井伸二 中野芳則 茂木亮輔



みねざき拓実 目黒えり 山崎哲男 山崎勝

環境建設委員会



◎ 寺島和成 ○ 山田敏夫 ぬのや和代 藤野ひろえ



山崎善信 長谷川真弓 島崎実 山内公美子

NEW 議会人事

◎委員長 ○副委員長

福祉文教委員会



◎ 湖城宣子 ○ 迫田晃樹 山田紀之 井上たかし



片谷洋夫 鴨居たかやす 久保富弘 野島資雄

予算決算委員会



◎ 鴻井伸二 ○ 山崎哲男

議長を除く
23名

議会運営委員会



◎ 久保富弘 ○ 湖城宣子 鴻井伸二

寺島和成
井上たかし
片谷洋夫
阿部悦博
島崎実



監査委員

鴨居たかやす議員が
選任されました。

議会 Q&A

Q. どうして半期で委員会メンバーの入替をするの？

A. 青梅市議会では、条例で常任委員会の任期を2年と定めています。議員が別の常任委員会を経験することにより、それぞれの所管事項についての知見を深めることができます！





一般質問

6月定例議会では、21名の議員が
一般質問を行いました。



インターネットの議会映像配信にて、
すべての内容を御視聴いただけます。



青梅市議会映像配信 QR コード

用語の解説

注1…随意契約（4面・阿部議員）

地方公共団体等の発注機関が、競争入札の方法に寄らず、任意に特定の事業者を選定して契約締結する方法。

注2…グリーンスローモビリティ（5面・目黒議員）

時速20km未満で公道を走行できる電動車を活用した小さな移動サービス。

注3…レイの失踪（6面・湖城議員）

株式会社Classroom Adventureが開発した教育プログラム。「闇バイト」の被害事例を基にした状況を疑似体験することができる。

注4…さくらねこ無料不妊手術チケット（6面・片谷議員）

公益財団法人どうぶつ基金が行う飼い主のいない猫問題に対する支援事業のひとつ。基金指定の協力病院にチケットを提出すると、無料で不妊去勢手術を受けることができる。

注5…インクルーシブ教育（7面・野島議員）

人間の多様性の尊重等の強化、障がい者が精神的および身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下、障がいのある者と障がいのない者が共に学ぶ仕組み。



しま ざき みのる
島崎 実（自民クラブ）

- 1 市長の市政運営方針について
- 2 モーターボート競走事業の収益向上策について
- 3 都市間交流・国際交流について
- 4 「青梅駅前地区市街地再開発事業」の補助金及び貸付金について



■市長の市政運営方針について

問前市長までの保守市政を十分踏まえた上での改革・変化を願いたい
が、今後の市政変革の方針は。

答まずは公約を実現していくこと、税収のベースを支えていくこと、
今までの事務事業を洗練していくこと、次の時代に向けて一つひとつの政策を進めていきたい。

■「青梅駅前地区市街地再開発事業」の補助金及び貸付金について

問毎年度業務状況報告書を市に提出すること
とされているが、定期的にヒアリングを行
う等のチェック体制は考えているか。

答帳簿・書類その他の調査等について報告を
求めるほか、必要に応じて定期的にヒア
リングを実施し、業務や資産の状況を確実に
把握していく。



あ べ よし ひろ
阿部 悦博（自民クラブ）

- 1 まちづくりの魅力向上を目指す
パークマネジメントについて
- 2 長期間に及ぶ契約の在り方について
- 3 新たな公共交通の模索について



■長期間に及ぶ契約の在り方について

問これからの契約の在り方について伺う。

答競争入札を基本としているが、随意契約^{注1}による締結も行っており、
案件ごとに契約方法を選定している。適正かつ公正であることはもとより、透明性、競争性および経済性も求められている。今後も案件ごとに期間や内容を確認・検討し、適切な契約方法を選定するよう努めていく。



■新たな公共交通の模索について

問自治体間をまたいだ広域による「新たな公共交通」の模索について、
市長の考えは。

答これまでも鉄道や路線バスなど既存の公共交通の維持に努めながら、
これを補完する新たな公共交通導入に向けた施策に取り組んでいる。
まずは、これまでの施策を着実に進め、近隣自治体との広域連携も
視野に入れながら、地域公共交通の充実を実現していく。



やま だ とし お
山田 敏夫（自民クラブ）

- 1 教育行政について問う



■教育行政について問う

問児童・生徒にとって望ましい学びの場の再編
計画を策定すべきと考えるが、見解を伺う。

答特別支援学級設置校の配置計画などを策定する
予定はないが、児童・生徒数の推移を慎重に見極め、特別支援学級等の増級や新設の対応を図るほか、今後の学校施設のあり方とともに、特別支援教育のあり方について検討していく。



問児童・生徒の障がいの状態や特性および心身の発達に応じた授業を
確保するためには、特別支援学級の教員の定数増が必要と考えるが、
見解を伺う。

答市独自で教員の定数を増やすことは考えていないが、特別支援学級
介護員等を適切に配置するとともに、児童・生徒の支援状況に応じて
加配を行うなど、教員の負担軽減に努めていく。



は せ がわ ま ゆ み
長谷川 真弓（公明党）

- 1 育児に対する男性の意識向上に向けた取組について
- 2 デジタルツールを活用したわかりやすい
情報提供について



■育児に対する男性の意識向上に向けた取組について

問乳幼児の誤飲事故対処法や心肺蘇生法を青梅市
子育て支援ガイドに図解事例で解説したコーナ
ーを設けてはどうか。

答現在、改定を行っている青梅市子育て支援ガイ
ドにイラスト等を用いて分かりやすく掲載していく。



■デジタルツールを活用したわかりやすい情報提供について

問青梅市公式LINEによる防災情報の周知について、プッシュ型の
災害時モードの導入を考えてはどうか。

答現時点では、プッシュ型の災害時モードの導入は考えてないが、台
風接近時などに自主避難場所の開設情報等をLINEを活用し、周
知を図っている。今後も道路の通報システムや、自主避難場所の位
置情報のリンクを貼るなどより使いやすくするとともに機能の充実
に努めていく。

め ぐ ろ
目黒 えり (市民フォーラム青梅・都民ファーストの会)

- 1 子どもが健やかに運動できる環境の確保について
- 2 持続可能な地域交通の実現に向けた課題への対応
- 3 防犯対策と市の取組



■持続可能な地域交通の実現に向けた課題への対応

問河辺町の新たな公共交通の本格運用に向けた検討状況は。

答車両はグリーンスローモビリティ^{注2}、調達方法はリースの予定である。実施時期は12月を目途に取り組んでいる。

■防犯対策と市の取組

問現在、小学生の見守り放送は市内一律で午後2時半である。放送に合わせて下校を見守る方もいるため、学校ごとに放送時間を設定できるようにすべきでは。

答学年や行事予定により異なることから細やかな設定は困難であり、仮に学校ごとに設定した場合には1日に複数回流れることも予想され、市民生活に一定の影響があると考え。このため、市内全域で、同じ時間帯に呼びかける現在の方法を継続していきたい。

て ら じ ま か ず な り
寺島 和成 (自民クラブ)

- 1 市民の命と財産を守る防犯の取組について
- 2 青梅市が目指す「サステナブルツーリズム」について
- 3 今後も続くと思われる酷暑(熱中症)対策について



■市民の命と財産を守る防犯の取組について

問防犯の観点から見た青梅市のまちづくりについて伺う。

答防犯カメラなどを設置する自治会等への補助、また、警察署や防犯協会と連携した啓発活動のほか、今年度実施する防犯機器等購入費の補助などの取組を着実に進めることにより、市民の防犯意識の高揚と自主的な防犯活動の推進が図れると考える。今後も関係機関と連携しながら、安全で安心なまちの実現に向けて、防犯対策に取り組んでいく。

■今後も続くと思われる酷暑(熱中症)対策について

問市民の安心安全のための熱中症対策の取組は。

答熱中症警戒アラート発表時に防災行政無線等による注意喚起や、涼み処の開設を行ってきた。今年度は涼み処をクーリングシェルターとして指定するほか、ごみ収集作業員等の空調服などの購入に対する補助事業を実施する。

や ま ざ き て つ お
山崎 哲男 (自民クラブ)

- 1 再生可能エネルギーとしての小水力発電について



■再生可能エネルギーとしての小水力発電について

問非常時でも水流が途絶えなければ発電可能であることも考慮に入れ、環境面への配慮および非常用電源として小水力発電を青梅市も導入してはどうか。

答発電自体は可能なものの、導水管の埋設、発電施設の設置等にかかる費用や、清掃が必要なことなどの課題も認識しており、現時点では実現可能性は低いと捉えている。しかしながら、本市の地域資源である、豊かな自然を有効に活用した再生可能エネルギーの導入は、カーボンニュートラルの実現に向け重要であるため、今後も引き続き、情報収集を進め、本市に合った再生エネルギーの可能性を研究していく。

や ま の う ち く み こ
山内 公美子 (公明党)

- 1 在宅医療・介護連携推進事業について
- 2 子育て支援について
- (1) 幼児教育・保育の無償化等について
- (2) こどもの居場所等について



■在宅医療・介護連携推進事業について

問医療・介護連携を推進するため、健康福祉部を中心に組織体制の見直しを行う必要性について考えは。

答高齢者人口が増加する中、在宅医療と介護の連携は、さらに重要になってくると考えている。全庁的な組織改正の中で必要に応じ、本市の実態に即した、組織体制の構築に向け取り組んでいく。



■子育て支援について

問夏休みや朝のこどもの居場所確保についての考えは。

答こども同士の交流や、保護者の就労支援の観点からも、夏休みの居場所確保の必要性は高いと考える。また、朝の居場所確保についても「青梅市こども計画」のチャレンジ事業として、「小学校始業前の児童の居場所確保」を掲げており、教育委員会が行う取り組みに対し、連携して進めていく。

も り ぎ り ょ う す け
茂木 亮輔 (日本維新の会)

- 1 地域コミュニティにおける人財の育成と確保に向けた取組について
- 2 公共施設建設におけるVR技術等の活用について



■地域コミュニティにおける人財の育成と確保に向けた取組について

問地域人財育成交付金・補助金といった地域人財を育成するための金銭的インセンティブを持った制度の創設について、市長の見解を伺う。

答多くの市民が地域の活動に参加しやすい環境作りが重要と考えていることから、助成制度の創設は考えていない。

■公共施設建設におけるVR技術等の活用について

問文化複合施設の建設に限らず、市内公共施設の建設において、状況に応じてVR技術等を活用していくことを検討してはどうか。

答今後、施設の規模や内容に応じて、VR技術等の活用について研究し、より良い施設整備に努めていく。



3D技術を用いたイメージ図

さ い と こ う き
迫田 晃樹 (自民クラブ)

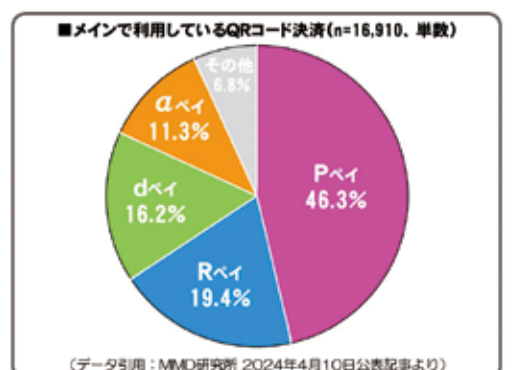
- 1 公共施設再編計画の目標達成に向けた取組について
- 一将来世代に負担を先送りしないために一
- 2 キャッシュレス決済ポイント還元事業について一より広く公平に、かつ健全な事業の実施を一



■キャッシュレス決済ポイント還元事業について

問「多様な選択肢を望む市民の声」「他自治体での実施例」「決済手段別の市場シェアデータ」「手数料の試算結果」「事業の健全性」などを総合的に捉え、複数決済サービスを対象として実施すべきと思うが、市長の見解は。

答どのような還元方法が事業者にとって最も有効であるかを把握することが重要と考えている。市場調査の結果をしっかりと分析し、単独決済サービスとするのか複数決済サービスとするのか、その還元方法も含めて慎重に検討していく。





湖城 宣子 (公明党)

- 1 こどもがまんなかのまちづくり
—子育て世代から選ばれる青梅市に—
- 2 中高生・若者を「闇バイト」から
守る施策を



■こどもがまんなかのまちづくり

問出生届のオンライン手続きを導入してはどうか。

答戸籍法施行規則の一部改正がされたことにより、マイナポータルからの届出も可能となっていることから、市としても、「スマートローカル青梅」が掲げる「市役所へ来庁しなくても、各種申請ができるような環境づくりの実現」の達成に向けた有効な手段であるため、実施に向け検討をしていく。



■中高生・若者を「闇バイト」から守る施策を

問闇バイトの危険性が疑似体験できるゲーム「レイの失踪^{注3}」を取り入れてはどうか。

答提案のあった体験ゲームは、情報活用能力を高める効果が見込めるものと思われるので、生徒の安全のためにも、導入に向け研究をしていく。



山崎 善信 (市民フォーラム青梅・都民ファーストの会)

- 1 青梅市のプラネタリウム遺構を後世に
- 2 中小企業に対する新商品開発認定制度
の導入を
- 3 多様なスポーツで元気な青梅に



■青梅市のプラネタリウム遺構を後世に

問青梅市のプラネタリウム投影機を遺構として保存すべきと考えるが、見解は。

答市が教育遺構として、保存していく考えはないが、様々なご意見があることは承知しているので、SNS等を活用し、譲渡先の募集などを行ってみたい。



■中小企業に対する新商品開発認定制度の導入を

問新商品開発認定制度を青梅市においても、導入すべきと考えるが、市の見解を伺う。

答認定制度は本市のものづくりを後押しする可能性があるものと捉えている。認定制度などの開発した新商品の販路拡大等につながる支援についても、先進自治体の取組事例等を参考に研究していく。



ぬのや 和代 (立憲民主党)

- 1 認知症カフェ補助金の新設を！
- 2 今がチャンス！青梅駅近隣にスーパーマーケット誘致を
- 3 コストパフォーマンスの高い文化ホールを作るために
- 4 令和5年3月策定の青梅市地域公共交通計画の進捗状況について
—デマンド交通はなぜできない—



■コストパフォーマンスの高い文化ホールを作るために

問材料に木材を使うことで補助金も利用できるが考えは。

答ホールの構造等は使用する材料等も含め、音響の専門家や建築家の提案をいただき、コストパフォーマンスや音響効果の優れたものを検討することとなり、活用できる補助制度は最大限活用し市の負担軽減を図っていく。

■令和5年3月策定の青梅市地域公共交通計画の進捗状況について

問デマンド交通の進捗状況は。今後、計画を修正する予定はあるか。

答デマンド交通について、各地の運行事例の視察やヒアリングなど情報収集している。計画は、令和10年度からの後期計画に向けて修正する予定である。



中野 芳則 (自民クラブ)

- 1 自治会間連携の取組について
- 2 ごみ減量の推進について
- 3 第7次青梅市総合長期計画実施計画の
令和6年度における進捗状況について



■第7次青梅市総合長期計画実施計画の令和6年度における進捗状況について

問①学校の働き方改革、②青梅駅前地区市街地再開発事業、③モーターボート競走事業について取組状況は。

答①学校に外部人材や、部活動指導員および外部指導員を配置した。②国の社会資本整備総合交付金や都の再開発補助金を要望し、満額交付となったほか、再開発組合と情報共有を図った。③SG競走を開催したほか、パラスポーツ体験会やスポーツ教室、ボートレースマルシェなどを実施し、新たなファン獲得に努めた。

問①青梅駅周辺の活性化についての取組状況は。

②今後のボートレース多摩川の施設の在り方は。

答①青梅駅前地区市街地再開発ビルへ図書館機能を導入するため、再開発組合と賃貸借契約の協議を進めている。②今後もお客様や地域に愛されるレース場を目指して、施設会社と協議していく。



藤野 ひろえ (日本共産党青梅市議団)

- 1 補聴器購入助成制度の拡充を
- 2 鳥獣被害防止対策について



■補聴器購入助成制度の拡充を

問現在、住民税非課税の高齢者に助成しているが、今後、所得制限を撤廃していただきたいがどうか。

答財源に限りがあるため、所得が少なく加齢性難聴で困っている方が購入できるよう助成しており、所得制限の撤廃は考えていない。

■鳥獣被害防止対策について

問農地だけでなく、家庭菜園などにも防護ネットや忌避剤、エアガンなどの購入に対し補助制度を検討してほしいがどうか。

答家庭菜園などにおける防護ネットや忌避剤、エアガンなどの購入補助については検討していない。



片谷 洋夫 (市民フォーラム青梅・都民ファーストの会)

- 1 飼い主のいない猫に対する取組について
- 2 公契約条例の制定を



■飼い主のいない猫に対する取組について

問飼い主のいない猫への不妊去勢手術の市独自の補助制度を創設してはどうか。

答これまでのさくらねこ無料不妊手術チケット^{注4}の有効活用や、協働団体への補助金交付事業を継続する中で、市民ニーズの把握に努め、協働団体と情報交換を重ねていく。



画像提供：公益財団法人どうぶつ基金

■公契約条例の制定を

問公契約条例を制定してはどうか。

答先進自治体から、実情や課題についての情報収集を行うとともに、制定を検討している自治体の動向等を把握するほか、以前行っていた西多摩地区市町村の契約担当者による研究会の再開を提案するなど、引き続き公契約条例の制定について研究していく。



くほ とみひろ 久保 富弘 (自民クラブ)

- 1 職員の育成及び確保等について
- 2 青梅市のスポーツ施設について
—特にテニスコートについて—
- 3 企業誘致・転出等防止の取組について



■職員の育成及び確保等について

問 今後、策定される人材育成基本方針には、育成だけでなく「人材確保」についても盛り込むべきと考えるが、市長の見解を伺う。

答 地域行政を担う職員としてふさわしい資質をもった優秀な人材を確保していく上で、「人材確保」への取組みを、新たな基本方針の内容に盛り込んでいく。

■青梅市のスポーツ施設について

問 テニスコートの集約を目的に、友田レクリエーション広場3面およびちがむら球技場2面の計5面を削減し、市民球技場に集約してはどうか。

答 持続可能な施設再編を進めるにあたって、大変効果的な手法であるとする。関係機関や利用者の意見を伺い、長期的な視点や利便性等も考慮し、より良い在り方について、具体的に検討していく。



いのうえ たかし 井上 たかし (日本共産党青梅市議団)

- 1 不登校児童・生徒の居場所づくりと学校改革を
- 2 「青梅市子ども基本条例」を市民とともに
—現在の活動を生かした条例づくりを—



■不登校児童・生徒の居場所づくりと学校改革を

問 別室指導について、東京都に対し支援の復活や充実等の要望や、市として支援する必要があるのではないか。

答 都では、これまでの事業に対する補助は考えていないようである。この2年間、指定校11校で培った指導方法について、別室指導を希望する学校へ共有することで、きめ細やかな不登校児童・生徒への支援につなげていく。

■「青梅市子ども基本条例」を市民とともに

問 基本条例は、権利擁護の体制をつくることもしっかり示した条例にしていけることが、条例の実効性を確保するために重要であると考えているがどうか。

答 こどもの権利が大切にされ、その保障が図られる条例を、こどもたちや市民など、多くの方に参画いただき、共に作りあげていきたいと考えている。



たぐみ みねざき 拓実 (日本共産党青梅市議団)

- 1 生活保護受給者等に寄り添った支援を
- 2 東青梅駅の駅舎等の建て替えは市民参加で



■生活保護受給者等に寄り添った支援を

問 生活保護受給者の就労支援はどのような課題があるか。就労支援体制を強化する必要があると思うが考えを伺う。

答 課題としては、就労経験が乏しい、離職期間が長い、対人関係が苦手などの理由から、就労に結びつかないことなどである。引き続き個々のニーズに応じた、きめ細かな支援を提供できるよう努めていく。

■東青梅駅の駅舎等の建て替えは市民参加で

問 なぜ、橋上駅舎の案がなくなったのか。東青梅駅の北側と南側の住民の公平性を考えて橋上駅舎にすべきと思うが考えを伺う。

答 コストだけでなく、工期や利用者への影響などを総合的に勘案した結果、地平駅舎の案で検討を進めることとした。



こうい しんじ 鴻井 伸二 (公明党)

- 1 タクシー運賃助成事業(マイタク)等について
- 2 危険な交差点の改善と渋滞対策を
- 3 障がい者等の移動支援事業について
- 4 福祉センター閉館後の
ボランティア団体の活動場所について



■タクシー運賃助成事業(マイタク)等について

問 登録場所や対象者、時間帯の拡大を検討してはどうか。

答 今年度中の本格実施に向けて、登録場所および利用時間の拡大について、タクシー事業者と協議しながら検討していく。障がい者を対象要件に加えることは、現行のタクシーの障がい者割引の適用区分と整合を図る必要があることから、今後検討していく。

■危険な交差点の改善と渋滞対策を

問 ①根ヶ布②岩井堂③七日市場の交差点の危険改善や渋滞対策を。

答 ①引き続き、都へ要望し早期の実現に向け取り組む。②改修計画について、都と連携し周辺の市道も含め検討していく。③都に渋滞の改善を要望していく。



のじま ともお 野島 資雄 (公明党)

- 1 保育所等運営への今後の支援について
- 2 女性活躍社会の推進について
- 3 発達(療育)支援の現状等について及び
特別支援教育からインクルーシブ教育への
転換について



■保育所等運営への今後の支援について

問 国の財政支援策の把握に努め、財政的な負担軽減の取組をお願いしたいがどうか。

答 市が将来を見据えた保育体制の計画的な整備を図るために、補助金等を活用することは市の財政負担軽減にも通ずることから、保育所等支援施策にかかる国等からの補助金等について、引き続き把握に努めていく。



■発達(療育)支援の現状等について及び特別支援教育からインクルーシブ教育^{注5}への転換について

問 庁内で連携し、支援を必要とする子どもたちに安定した信頼される施策の提供を強く希望するがどうか。

答 安心して就学できる環境を整え、未就学段階からの継続性や一貫性のある特別支援教育を提供できるよう、今後も連携を一層深め、適切に対応していく。

視 察 報 告

全国各地の先進的な取組を調査研究するため視察を行います。※詳細は、ホームページに掲載しています。



福祉文教委員会

【視察日】令和7年2月6日(木)

【視察事項】小中一貫教育の推進について

【視察地】東京都品川区

【視察の概要】

品川区役所で、小中一貫教育の取組について担当者から説明を受けた後、豊葉の杜学園(義務教育9年間の一貫教育を行う学校)で、学校長から説明を受けるとともに学校施設を見学しました。

品川区の小中一貫教育においては、英語科と市民科で独自のカリキュラムを採用しており、特に英語教育では、1年生から9年生までの間に段階的に英語に親しみ、身に付け、活用できるように工夫され、非常に成果が出ているとのことでありました。小中一貫教育を考えるに当たって施設一体型の学校の新設というハード面に重点が置かれがちですが、品川区の英語教育のようにソフト面にも重点を置く取組は大変参考になるものでありました。



豊葉の杜学園

議案の議決結果

5月招集議会

◆全会一致で同意となった議案◆

議案番号	議 案 件 名
1	青梅市監査委員の選任について

6月定例議会

◆全会一致で可決となった議案◆

議案番号	議 案 件 名
2	令和7年度青梅市一般会計補正予算（第1号）
3	令和7年度青梅市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
4	青梅市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律にもとづく個人番号の利用および特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例
5	青梅市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
6	青梅市市税条例の一部を改正する条例
7	青梅市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例
8	青梅市いじめの防止に関する条例の一部を改正する条例

議案番号	議 案 件 名
9	市立青梅総合医療センター使用条例の一部を改正する条例
10	矢端川今井2丁目調節池整備工事にかかる契約の変更について
11	市道路線の認定について（長淵8丁目 開発行為に伴うもの）
12	市道路線の認定について（今井2丁目 開発行為に伴うもの）
13	青梅市表彰条例にもとづく表彰の執行について
14	青梅市議会議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例
15	令和7年度青梅市一般会計補正予算（第2号）
議員 1	青梅市議会政務活動費の交付に関する条例に違反したぬのや和代議員に対し猛省を求める決議

令和7年度青梅市一般会計補正予算（第1号）

【主なもの】 ■防犯機器等購入費補助金を追加し、防犯機器等の購入に対し1世帯当たり2万円を上限に補助 ■麻しん風しん第1期、第2期および風しん第5期定期接種の接種対象期間の延長、带状疱疹任意接種の実施 ■中央図書館防犯カメラ修繕

令和7年度青梅市一般会計補正予算（第2号）

国の閣議決定により増額措置される物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰の影響を受ける市民や事業者への支援（市内の全世帯を対象に燃やすごみと容器包装プラスチックごみの中袋1組ずつを配布、市内のさまざまな事業者に対し補助金等を支給）を行う。

青梅市議会政務活動費の交付に関する条例に違反したぬのや和代議員に対し猛省を求める決議

議員提出による決議案が6月10日の本会議において全会一致で可決されました。
【決議要旨】ぬのや和代議員の青梅市議会政務活動費の交付に関する条例違反に対し、議員としての資質および責任を強く問うとともに、猛省を求める。
※決議の全文はホームページに掲載しております。

陳情の議決結果

6月定例議会

◆賛否が分かれた陳情◆

【○…賛成 ×…反対】

陳情番号	陳 情 件 名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	賛成	反対
			中野芳則 自民	山田紀之 自民	寺島和成 自民	茂木亮輔 維新	井上たかし 共産	ぬのや和代 立憲	みなぎ拓実 共産	藤野ひろえ 共産	目黒えり 市都	山崎善信 市都	片谷洋夫 市都	長谷川真弓 公明	山崎哲男 自民	阿部悦博 自民	迫田晃樹 自民	山田敏夫 自民	島崎実勝 自民	山崎勝 自民	鴨居たかやす 自民	久保富弘 自民	湖城宣子 公明	山内公美子 公明	鴻井伸二 公明	野島資雄 公明		
陳情 7-1	日本政府に選択的夫婦別姓制度をただちに導入するための国会審議を求める意見書の提出を求める陳情	不採択	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	4	19

9月定例議会の会議予定について

日	月	火	水	木	金	土
8/31	9/1	2	3	4	5	6
			本会議（一般質問等）			
7	8	9	10	11	12	13
	常任委員会			予算決算委員会 全員協議会		本会議
14	15	16	17	18	19	20
		予算決算委員会				
21	22	23	24	25	26	27
				本会議		
28	29	30	10/1	2	3	4

会議予定は、変更になる場合がありますので、お問い合わせいただくか青梅市議会ホームページでご確認ください。

青梅市議会ホームページQRコード



用語解説

決議ってなに？

議会全体の意思や考え方を対外的に表明するために行われる議決のことです。法的な強制力はありません。

- ◎近年、青梅市議会で可決された主な決議
- ・ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に抗議する決議
- ・ガザ地区における平和の早期実現を求める決議

青梅市議会としての意思表明です！



市議会だよりアンケート実施中



青梅市議会だよりアンケート用QRコード

より充実した市議会だよりをお届けするために、アンケート調査を実施しております。みなさまのご意見・ご感想をお聞かせください。